

他職種とのタスク・シフト/シェア:

特定行為研修修了看護師の配置、医師事務作業補助者の配置



- 社会医療法人(大阪府東大阪市)
- 高度急性期機能、急性期機能
- 病床数230床(高度急性期病床10床、急性期病床220床)
- 職員数483名(医師46名、看護師202名、医療技術職108名、事務職員等127人)

【医師の働き方改革に取り組むまでの経緯】

- 当該病院の外来診療時間は午前中のみのため、多くの医師は午前中に外来診察を行い、午後に手術や入院患者の治療に取り組んでいた。
- 午前中には外来患者から診断書や各種証明書の作成依頼もあり、救急患者の対応などで定時内に書類を作成する時間を確保できないこともあった。
- 医師による実施が必須ではないCVカテーテルの挿入や褥瘡処置、創傷管理なども医師が行っており、これが医師の業務負担に繋がっていた。
- 院長が「スタッフの専門性を活かすことで患者に安心安全の医療を提供するとともに「医師待ち」の解消と医師の業務負担軽減する」方針を示したことにより、認定看護師や特定行為研修修了看護師の配置と医師作業補助者が配置された。

【取組概要】

特定行為研修修了看護師の配置

- 外科系病棟・褥瘡外来、救急外来、集中治療室に認定看護師の 資格を持つ特定行為研修修了看護師を配置した。
- 認定看護師としての専門性を活かし、医師業務の一部を特定行為 研修修了看護師とタスクシェアを進めた。
- 看護師としての専門性を高めるために、院内外で情報交換を行った。
- 院外との交流でタスクシェアできそうな事例について情報があれば当院に持ち帰り、医師と相談しながらタスクシェアの検討を進めた。

医師事務作業補助者の配置

- 医師の事務作業における負担軽減を目的に、医師事務作業補助者を各診療科外来に配置した。
- 電子カルテの代行入力や各種診断書の医療文書の作成補助、診療データの登録、クリニカルパス関連管理業務を医師事務作業補助者にタスクシフトした。
- 医師事務作業補助者の自立に向け、医師と看護師がサポートをしたり、やりがいのある仕事と感じてもらうために学会で発表する機会を与えた。

※若草第一病院の事例で記載する「看護師」は特定行為研修を修了した認定看護師を指す

【医師業務を看護師とタスクシェアするための進め方】

看護師のタスクシェア内容の検討

- 院長を中心とする医師と看護部のメンバーが、医師業務のどの部分を看護師とタスクシェアできるかについて検討を進めることとした。
- ▶ 特定行為区分(38行為21区分)を確認し、特定行為研修を修了した認定 看護師の専門知識やケアの視点を活か すことができる医師業務を看護師にタス クシェアすることができないかを検討した。
- ▶ 患者に医療を提供する際に、看護師が全ての処置を医師に確認していると適切な対応が迅速にできないことに加え、患者のためにならないという考えのもと、患者の医師待ち状態を解消し、より迅速な医療を提供できるようにするためには、どんな医師業務を看護師とタスクシェアすることができるかといった観点でも検討を進めた。

認定看護師や特定行為研修修了看護師の育成

- ▶ 現場で看護業務を行う認定資格を持たない看護師の中でも、認定看護師の資格を取得できそうなスキルを持つ者もいる。そのような看護師には看護部内で認定看護分野の情報を共有した。
- 資格取得には費用も時間も要するため、 資格取得を目指す看護師にどのようなサポートをすることができるかの検討を行った。

看護師のタスクシェア内容の拡充

- ▶ タスクシェア開始当初は医師とタスクシェアする業務は限定的であった。
- ▶ 看護師から医師に対し、患者へ迅速 なケアを提供するためにタスクシェアでき る業務がないかの確認や提案を行った。
- ▶ 看護師から提案のあったタスクシェア業務について、医師が実施可能かどうかを検討した。問題がないと判断された業務については、医師が指示書を更新し、看護師は手順書に従って診療を補助するようにした。

資格取得等のサポートした看護分野

皮膚・排泄ケア:1名	緩和ケア:1名
救急看護:1名	がん性疼痛看護:1名
集中ケア:1名	感染管理:2名
特定行為研修受講:3名	

【具体的な取組内容】

• 医師の一部業務を特定行為研修を修了した認定看護師とタスクシェアした

当該病院の皮膚・排泄ケア認定看護師、救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師は特定行為研修修了看護師でもあるため、手順書に示された範囲においてタイムリーに診療の補助を行っている。

認定看護分野	皮膚・排泄ケア認定看護師	救急看護認定看護師	集中ケア認定看護師
配置部署	外科系病棟・褥瘡外来	救急外来	集中治療室
医師と認定看護 師がタスクシェアし ている主な業務	✓ 胃ろうケア✓ ストーマケア✓ 壊死組織除去✓ 陰圧閉鎖療法	 ✓ PICC (末梢静脈挿入型中心静脈カテーテル) 挿入 ✓ 手術助手や周術期管理 ✓ 輸液栄養管理 ✓ 創部及びドレーン管理 ✓ 麻酔補助管理(Aライン確保・輸液他薬剤投与量の調整) ✓ 救急搬送患者の処置やコンサルテーション 	✓ 呼吸器関連管理✓ 輸液栄養管理✓ 循環器系薬剤調整✓ 救急搬送患者の情報を看護師に共有するとともに初期看護を実施

【看護師による褥瘡処置】







【看護師によるPICC挿入】



【継続的に取組みを実施・運用するために行った施策】

- 他病院の看護師と情報共有する場を設け、当院でも実践できるタ スクシェアの幅を広げている
 - ▶ 同法人内の他の医療機関には15名程度の認定看護師や特定行為研修看護師が勤務している。半期ごとに、同法人内の医療機関に勤務する認定看護師同士が情報交換や意見交換を行うための交流会が開催されており、そこでは系列病院同士の活動報告や医師とのタスクシェアについてディスカッションしている。系列病院の看護師から共有される情報や意見を参考に、当院でも実践できそうなタスクシェアがあれば、当該病院の医師と協議検討している。
- 経営層は看護師の「やりたい・頑張りたい」という意欲を仕事のやりがいに繋げられるようにサポートした
 - ▶ やりたい仕事や好きな仕事をすることは、職員のモチベーション 向上に繋がるため、経営層にはその実現をサポートする環境整 備が求められる。
 - ▶ 当該病院の看護師たちが「専門的なケアを提供するために資格を取得したい」「看護スキルを向上させたい」と願望を表明した際は経営層がその意欲に応え、資格取得に向けた費用等支援(修学支援手当や研修に係る交通費の支給等)や勤務条件の調整など、支援体制を整備した。
 - ▶ 職員のモチベーション向上は業務効率向上につながり、当該病院や地域医療の発展に寄与すると考えている。

【取組を実行・運用していく中での課題とその対応方法】

- 新しく赴任した医師とのタスクシェアする内容を確認・調整すること が課題であった

• 課題解決に向けた対応方法

▶ 看護師は新しく着任した医師と積極的にコミュニケーションをとり、当該病院で進めているタスクシェアの内容や看護師が提供しているケアについて説明した。さらに、医師同士でも看護師が提供しているケアについて共有が行われ、新たな医師がタスクシェアを行いやすい環境が整備された。

【医師と看護師のコミュニケーション風景】



【看護師の特定行為に関する院内掲示物】

「特定行為研修」を修了した看護師が診療の補助を行っております。

わが国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年に 向け、今後の急性期医療から在宅医療などを支えてい く看護師を計画的に養成することを目的に「特定行為 に関する看護師の研修制度」をスタートさせました。

(保健師助産師看護師法第37条の2第2項 平成27年10月1日施行)

当院では、この研修を修了し、高度かつ専門的な知識と技能を身につけた看護師が一定の診療の補助を行っております。患者さんの状態に合わせたタイムリーな対応と専門性を発揮することで、質の高い医療・看護を効率的に提供してまいりますので、今後の活動にご理解とご支援をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。



※ 看護師による診療の補助行為について、ご相談・ご意見等がございましたら、南館1階「患者相談窓口」でおうかがいしますので、お申し出ください。なお、申し出により患者さんが不利益をこうむることはありません。

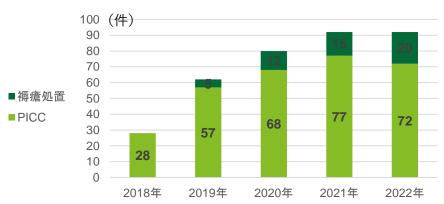
若草第一病院 病院長

【特定行為の手順書】

	172.174	
Mana conter	関連的各の基準 自然的は「所名は、 おけり車 物配と上がり車 まりを含むす 切り向 血酸性が成 (5点)、 レントゲン原を等 が構造さら他さられたがれた。 であることを認じ、 物はを知るに関するようだ、 ※10所名目フェーブ は食料な具を一プのはどの発生がり。	6 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
SEMELEKANS ORE	日本代別をイーアの向える映画の1992 ・経験を(よって中央 とのは、一般を生まれている。といる会社 「数据点を大力やも、最近の数据を開きためまった。)等、第十分数十分 かれた他のの際にあることを選択し、最生質が、特別様に、特別情報 事業業等の人と可能がある。	e e
HASINGUALING 10 EE	会技術を「呼吸性性、生命の分泌性の意味をおり、サファルの水準、実施・ベル等 と他変態等「動物を選ぶ入れる、最高が影響の機能を対象をしなり、等)等 関から指令された他のの機能したることを発揮し、手供験が続く等を会立 2000年の内閣を発音を変まる。	1
いる他に分する動物 RODAを最の回撃	各級財産 「神器や機能かりズム」所も状態、人工所機能との問題等におけ 機能・関連を返行文が等、認定的登録を指導を検索している。等の機能 指するもと的次の機能にあることを確認し、機能進力能を至め開発を行う	-
	を集かる (神術学校、一部教育者 ちつが成の名称、意識してよる) 展 第一数数数 (ボスタマ、新版中数数数数数数数 (1957) 等) 及りの行動 が実践から自由された表状の影響(あることを発揮し、人工が発音かられ (フィーニング) またり。	
	を書き、コートの経典(カーユー)人のかな物の影響、内閣の教室の特殊 等)、水本の度、対象を整定したりを変現を(特別の機能の経過を開設し)、他、他が最終から他はつるのは、 を表現から、他はつるのは、 を集まれることの主義を行う。	2.42
-08#0+-+40 #4	を集する「特殊の有限、企業情報者は、とび投資機を与が出場から取れる。 の情報が選択にあることを確定。一年の研究に関すれているカーリネ を書き、生ますることを、生まが出まっれたことを関する。 他上部は の、飲料商業以び保証をドレフシング制の批析を行う。 他占者で開業され に得ながあるとから。	で 付 値 点点の地域が程度、特殊回転、表集の有限、日海や機 値 接触型(地域等で)等が影響から発表された身社の範囲 ・ 機等による現在を行う。
	条金を発 (主統市営の支払に基づく支援的組み返出の利力と、資券的的 等) 直の通過機能等の認識から配きられた表現と概定しあることを確認し を対し、こので表現的限を選択し、規定的に計算能力は上級時間を登録し、 情報支持でので表現的限を選択しませないに対する。 情報支持でもで表現的場合をディーと、2円以 と様人する。	第、原業、金子等)、金石管を含む場合に関係がある。
MK FarrizORA	各条年度 [集団の対抗の者、原人総の状態、発発の名物等) 近び後去協能 開発や土物をラスト 知識の場所にあることを研究し、意味に対し、何覚さ いるドレーンを指点する。 他の数は2回は、ガーゼドレアーリンは機能だ シング時の対けを行う。 地名は日本の人にも場合はおようだち、	が、 数据の程度、不整新の合物、調度等)自び資金報号(発展 で、 が基礎から持ちられた例がの影響にあることを選択し、 うね、カリウム又はウロール(生態期)の信号量の開発を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	事事可能、阿司伊思、斯内明明の支持等)とは母音編集(第三分数数点 確定(1942)等、平式世界から数をよった内的の可能(あることを確認し 我们に始重数。 上海転換、大陸電影等を学問し、製造を含むした後、(株子芸術はません)。	
利用物能ラインの物施	条体を受け、対象機能、対力可能の制度、デアノーを第1条が開発を開発(MI 大力のは、独立で配数は数据を対象とは、2016年の対象を大利され、 大力を設定したとなった。 選出かけ時代があり、大学的に対 の選手が選挙したを認め、最初的に対象のカーニーレスルを整備のに対 の選手が選挙したを認め、最初的に対象のカーニーレスルを整備的に対 の選手が通	第、原置は第、原金、本分析和音、不禁直接等。なが認識 の対象によることを確認し、海峡血流中の環境機会、環境 直接端の配子量の開催を付う。
	NO. 101	(4. 民意、大学商歌書、予節高声等) 3(分音音音等 (電報 電子また上級の会議器とあることを確定し、非議点集中会 課制 (監禁家) の名を皇の間覧まける。
		他しんの物理。 図書等の規則の反角の記憶、遺跡の有限 たされた前はな物質にあることを確認し、 関うラカテーチ ナーアルス世界もうポランの意識を行う。
	JAM.	をたくの名称。 連首節の周辺の広角の交換。 皮肤の名気 あされた病状の範囲にあることを確認し、放映からカテー ナルの交換を行う。
	概義文は際所創設 等におする生活の 意見確認の言义	* 小田田において、自然のない場合した事件の報告を申す (第27)、直接権 子手でない向き、事業等、当時付き向いた原始による連携等を行う、企業が あった場合に日本企の日間等の選問とよる企業等を行う。
	事態に対する助料の 事法	自住所見 (銀数の至2、銀数の分分物、単形形成の作物、余水、田田、水本
	病療機能がある事が する機能の機能の動物の自	資外得見(原理機の有数、完整の程度率)及び減量拡展率が拡張から基金される と情報の機能にあることを検討し、整金管理所の連制を担手する。
	●経済ステーテルによ ・	

【医師と特定行為研修修了看護師とのタスクシェアによる取組効果】

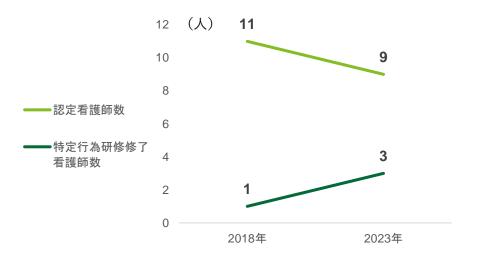
医師と特定行為研修修了看護師との年間タスクシェア件数は増加傾向にあり、医師の業務負担軽減に繋がっていると考えられる。



※PICC及び褥瘡処置の1回あたりの処置実施時間は30分程度。

認定看護師及び特定行為研修修了看護師数

• 特定行為研修修了看護師数は増加傾向にある。



【現場職員の声】



医師

"陰圧閉鎖療法やPICC挿入といった医師の業務を特定 行為研修修了看護師にタスクシェアしたことによって、医 師の業務量が軽減した。専門性を活かした看護師の活 躍は医師だけでなく患者にとっても安心感が生まれる。"

"特定行為研修修了看護師が看護師の意見を集約して 医師に伝えるなどしてくれるので、医師と看護師をつなぐパイプ役になってくれている。"



看護師

"専門的な治療や看護が必要な患者・家族に対して 最適な看護を実践したく、認定看護師の資格や特定 行為研修を修了した。当院では経営層を中心にサポートしてくれるので、やりがいを感じながら患者に寄り添う ことができている。"

"外来や診療のため医師の対応が難しく、指示待ちの時間が多かったが、特定行為研修修了看護師によるタイムリーな対応により、医師待ちの解消に繋がった。"

【医師業務を医師事務作業補助者にタスクシフトするための進め方】

- ・ 医師から医師事務作業補助者へのタ スクシフトを推進するためのチームを組 成した
 - ▶ まず初めに医師から医師事務作業補助者にタスクシフトする内容を検討する必要があった。そこで院長を中心に医師のどの業務を医師事務作業補助者にタスクシフトするかを検討するチームを組成した。

タスクシフト検討チームメンバー		
院長	医療技術部長	
各副院長	医局事務課長	
診療部長	薬剤課長	
常勤医師	ME課長	
事務局長	感染対策室課長	
薬剤部長	医師事務作業補助者	
健康情報部長	-	

- ・ 医師事務作業補助者へのタスクシフト を実行する前に医師がタスクシフトしたい 業務についてアンケートを実施した
 - ▶ タスクシフト検討チームは、医師事務 作業補助者にタスクシフトする業務を 把握するために、常勤医師に対してア ンケート調査を行った。
 - ▶ アンケートでは、医師が医師事務作業補助者にタスクシフトしたい業務を記入し回答してもらうこととした。
 - ➤ 医師事務作業補助者に関するガイドラインなどを参考にし、当該病院で医師事務作業補助者にタスクシフトできる業務をチームで検討し、確定させた。医師事務作業補助者にタスクシフトする業務を記載した「医師事務作業補助者の業務手引書」を当該病院で作成し、医師事務作業補助者にタスクシフトすることができる業務内容を周知し、タスクシフトを開始した。

- ・ 医師事務作業補助者の「教育・研修・ 研究 |体制を充実させた
 - ➤ 医師事務作業補助者にタスクシフトする医師のニーズへ迅速に対応するために、医師事務作業補助者のスキル向上が必要であった。タスクシフト検討チームが主導し、医師事務作業補助者協会のキャリアラダーを参考に、当該病院独自のキャリアラダーを策定した。
 - ▶ 医師事務作業補助者は医師の業務 負担を軽減し、医療の品質向上に貢献する重要な役割を果たしているため、 当該病院では医師事務作業補助者 のスキル向上のための機会を提供する こととした。

【具体的な取組内容】

• 医師が行う業務のうち、文書作成等の事務的な業務を医師事務作業補助者にタスクシフトした

当該病院の医師が行う業務のうち①各診療科外来での診療補助、②医療文書の作成補助、③診療データの登録・報告等の補助を医師事務作業補助者にタスクシフトし、医師の事務業務の負担を軽減を図っている。

	各診療科外来での診療補助	医療文書の作成補助	診療データの登録・報告等の補助
	✓ 電子カルテの代行入力✓ 診察や各種検査の予約✓ 説明書・同意書の発行✓ 処置料、指導料、管理料の入力	✓ 各種診断書、証明書、意見書✓ 他施設への紹介状、診療情報提供書、返書✓ 訪問看護指示書✓ 退院時要約	
医師から医師事 務作業補助者に	クリニカルパス関連管理業務の補助※		✓ 院内がん登録
タスクシフトしてい	✓ パス適用決定患者の患者用パスの作成✓ パス委員会で認可された新規パスの電子カルテシステムへの文書コンテンツ登録	✓ 各症例登録 ✓ 各種統計・調査のデータ整理	

[※]日本クリニカルパス学会の「電子クリニカルパス操作における事務職(医師事務作業補助者・クラーク)の代行操作に関する指針(案)」に従い、クリニカル パスの代行入力を行っている。

【継続的に取組を実施・運用するために行った施策】

- 医師事務作業補助者の自立に向け、医師と看護師が業務のサポートを実施している
 - ▶ 医師事務作業補助者1名につき、医師1名と看護師1名がサポートに付いている。医師の診療補助や医療文書作成補助の際に不明点があれば、すぐに確認できるような体制を整えており、医師事務作業補助者が安心して業務に取り組めるように心がけている。
- 医師事務作業補助者にも学会で発表してもらうことで、医療の質向上に貢献する大切な役割を担っていることを感じてもらっている
 - ➤ 医師事務作業補助者には、日本医師事務作業研究会などで学会発表の機会を提供し、医師事務作業補助者自身が医療の品質向上に貢献している重要性を認識している。2021年には、医師事務作業補助研究会全国大会で「医師事務作業補助者の業務日報様式の検討と見直し」を発表し、優秀演題賞を受賞した。

【医師と医師事務作業補助者のコミュニケーション風景】



【取組を実行・運用していく中での課題とその対応方法】

- 採用される医師事務作業補助者の多くは事務作業のスキルがあるが医療に関する知識がない
 - ⇒ 当該病院で医師事務作業補助者として採用される多くの 方々は、事務スキルを持っているが、医療に関する知識が不足 している。特に医学用語の使用方法や医療文書の特有の表 現に苦労する職員が多い。

• 課題解決に向けた対応方法

▶ 四半期に1回程度、医師が講師となり勉強会を開催している。 当院で提供される一般的な医療内容や各部門の医療内容、 医療用語について、わかりやすく解説している。

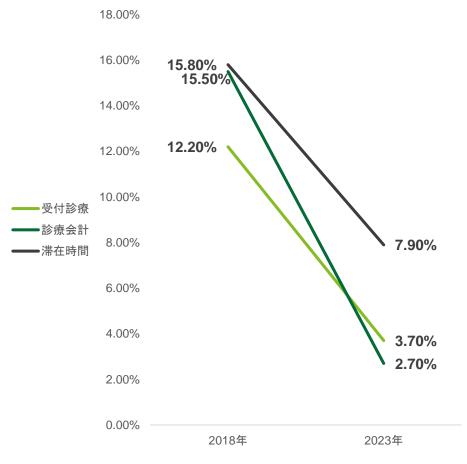
【医師事務作業補助者向け勉強会の内容】

勉強会の内容	講師
消化器内科疾患	消化器内科 副院長
病理結果報告書の読み方	院長
循環器疾患 4 回シリーズ ✓ 循環器疾患の主な症状と鑑別について ✓ 主な循環器疾患について ✓ カテーテル治療について ✓ ペースメーカーについて	循環器内科 副院長
呼吸器疾患 2回シリーズ ✓ 慢性閉塞性肺疾患 ✓ 睡眠時無呼吸症候群	呼吸器内科 部長

【医師から医師事務作業補助者へのタスクシフトによる取組効果】

医師が患者の診察の合間に実施していた事務作業時間が減少した ことにより、患者の在院時間に関する満足度が向上していると考えら れる。

患者の「受付診療・診療会計・滞在時間」に対し長いと感じた割合



【現場職員の声】



医師

"電子カルテの代行入力や診断書等の医療文書作成など、医師の事務作業を医師事務作業補助者にタスクシフトしたことによって、業務負担軽減に繋がったことに加え、患者に向き合う時間が増えた。また、医師として専門性を発揮できる業務に集中できるので、医療の質の向上に繋がっている。"



医師事務作 業補助者

"当院の医師事務作業補助者には「教育・研修・研究」の体制が整っている。多忙な医師の事務作業をサポートすることによって、医師の負担軽減を図るとともに、チーム医療推進への貢献ができる。また、研鑽を積み、スキルアップすればするほど医師から頼られる存在となり自身のやりがいに繋がっている。"